

旭川東高PTAだより

第20号

活動の中心

高専

「シマレガンバレ」
北海道旭川東高等学校標語



発行日：令和4年3月1日
発行：北海道旭川東高等学校PTA
編集：PTA広報委員会

第70回 北海道高等学校PTA連合会大会 (旭川・留萌・名寄大会)

第70回北海道高等学校PTA連合会大会

(旭川・留萌・名寄大会)

— 講演を聴いて —

開催日: 令和3年6月12日(土)

会場: 旭川トーヨーホテル

基調
講演

演題 「夢は努力でかなえる」

講師 土屋ホーム スキ一部選手兼監督 葛西紀明氏



レジエントと聞いて一番はじめに頭に浮かぶのは葛西選手かもしれない。そのレジエントの講演を聴く機会を得ました。葛西選手は想像よりも細く驚きましたが、スキーのための筋肉はしっかりついているので、脱いだらすごいんですよ等の冗談を交えながら楽しいお話を聞かせていただきました。

スキージャンプに出会った頃には経済的な理由で続けられないかもしれないという事もあったそうです。ですが、ご両親が子供の夢を応援したいという強い思いや努力、そして、その様な時に支援してくれる人との出会いがあったことで、スキージャンプを続けることができたそうです。お話を聞く中で、葛西選手の夢の実現に対する思いの強さ、執着心が人一倍強いことが伝わってきました。家族の応援や支えを励みに努力を惜しまないことが、今のレジエントと呼ばれる所以である、8回のオリンピック出場、40歳を超えてからの銀メダル獲得につながっているのだと納得できました。

この講演を聴いて、本人の夢への思いだけでなく家族のサポートが力になることがわかりました。今後の子育てにも生かしていきたいと思えました。そして、光栄なことにオリンピックのメダルに実際に触れる機会をいただき、その重さに感動と驚きの私達でした。

今年度新たに創設された優良PTA広報紙に選出され、受賞団体を代表して授賞式に参加しました。我が校の広報紙「大空まどか」は、生徒の学校行事を掲載するというものではなく、様々なPTAの取り組みや活動を紹介することで、学校と保護者とのつながりを皆様に伝える媒体となっているのではないかと自負しております。

子供の為にできる活動を考えたり、保護者が楽しく学んだり、交流できる場を考案計画・実施してくれる、教養委員会、生活委員会、各学年委員会の活発な活動のおかげで、内容の濃い広報紙を作成できているのだとあらためて感謝しております。

優良PTA 広報紙表彰

前広報委員長
佐藤麻里子

分科会

1

演題

「子供の進路のために親ができること」

講師

札幌大谷大学 教授 平岡 祥孝 先生

分科会1では、初めに札幌大谷大学教授平岡祥孝先生の講話を聴き、その後北岸会長が司会を務め、平岡先生、旭川南校校長先生、保護者2名によるパネルディスカッションが行われました。

平岡先生には、「学びを通して社会人基礎力を育てる」というテーマでお話をいただきました。お話では、最近高校でもキャリア教育が重要となってきたが、高校卒業後に就職した者の半数近くが離職しているとのことでした。そして、平岡先生からは学校生活の中でA（アクシオン）→ステップ（力）→行動力（力）（シンキング）→考え抜く力（力）（チームワーク）→チームで働く力（力）を普段の学校生活で養っていくことが一つのキャリア教育の在り方であるとのことでした。

パネルディスカッションでは、「これから求められる人材像について」と、「進路についての親子の会話をどのように進めていったらよいか」をテーマにそれぞれ学校、父親、母親としての立場からお話をしました。ディスカッションの中では、就職にしても、進学にしても子ども達の進路を実現させるためには、一人一人と向き合って支援していくことが大事であるとのことでした。

分科会1を全体を通して、子ども達が学校卒業後に社会の一員として生活していくためには、高校での学びが非常に大事であり、生徒（子ども達）ファーストで支えることが大事だと感じました。



分科会

2

演題

「保護者が学ぶICT教育」

講師

旭川明成高等学校 教頭 柿崎 哲平 先生

「保護者が学ぶICT教育」ということで、明成高校教頭の柿崎哲平先生が講師としても力強く熱く話してくださいました。

当初は生徒も参加し、保護者だけが対象だったようですが、ICT教育は教員も学んで取り組んでいかなければいけないと急遽内容を教員も対象にしたものに変更したようです。

これからの教育はITというツールを使い、学び方や学習の方法も変わってきているので、親も先生もついて行かなくてはならないと柿崎先生は強く伝えて下さいました。

日本はその分野では遅れをとっているのですが、これからの将来を担っていく子どもたちへの教育のあり方は大人がどれだけ時代について行けるのか、成長できるかにかかっているんだと実感しました。

インターネットと携帯電話がこれだけ多くの人が使えるようになっていっているので、出来ることは無限にあるのではないかと私も思います。

「親も先生も子どもを尊重して下さい」と柿崎先生はおっしゃっていました。子どもはたくさんさんの能力と可能性を持っていると思います。それを引き出して、活かせるような社会を大人も柔軟に対応し子どもと一緒に成長する気持ちで進んでいかなければいけないのかなと感じた貴重な時間になりました。



3学年委員会主催

受験生のための情報共有会

7月26日(月)

7月26日に3学年委員会主催による受験生のための情報共有会が開催されました。例年は保護者も会場に参加して開催されますが、新型コロナウイルス感染防止の為、YouTubeによる生配信で行われました。当日視聴できない保護者のために後日録画でも配信されました。

事前に3学年の保護者に受験に関する質問を募集し、進路指導の花尻先生、実際に前年度にお子さんが受験生だったPTA会長の北岸さんと松井先生に答えて頂くかたちで進められました。

保護者からの質問は受験をひかえた子供に対する向き合い方や受験時の移動について、合格後の住居探し、外部英語検定試験利用についてなどでした。新型コロナウイルスの影響で色々状況が変わる中、保護者からは実際に経験したリアルな情報を提供して頂きました。

当日の質問のなかからいくつかを紹介します。

Q 受験を迷っている場合どのような声を掛けたいのか。

A 受験校を選べないのは、やりたいこと、魅力的なことが見つかっていないのでは。どんな事がやりたいのか、現役にこだわるのか浪人してでも行きたいのか子供と意思疎通をすべき。

Q 受験時の移動や宿泊の手配、滞在日程はどのような考えたらいいのか。

A 受験に関して最も親が積極的に手助けできる部分。ある程度受験校が決まったら10月頃から早め準備してもいいのでは。早い時期に手配す

る場合にはキャンセル料の発生する月日を確認する。旅行会社に相談すると、受験生バックもあるのが安心。

・受験の二日前には現地入りをすべき。特に北海道は雪の影響を考慮しておく。

・受験地の予備校の自習室が使用できる場合もあるので事前に確認を。

Q 受験の際親は同行すべきか。

A 親が同行するか本人に決めてもらった。
・同行したほうが親も心配しないで済んだ。
・受験直前にトラブルなどで慌てないよう親が同行する方が安心できる。

Q 家探しの方法、タイミングはどのようにしたらいいのか。

A 受験が終わってから決める人もいるが、合格が決まってからでは良い物件がない場合もある。

オープンキャンパスや下見の時に親が同行するならば、立地や生活環境をその時に確認したらいいのでは。ストリートビューや不動産会社のサイトにある物件のマルチビューを使えばネット上でも確認できる。





生活委員会の活動

東ドラ 工場見学・焼印

福居製館所様にお伺いして生活委員8名が、工場見学、東ドラの焼印をさせていただきました。

工場見学は、材料から製造工程、完成までを見学させていただいたので、子ども頃の社会見学を思い出した懐かしさと、「大人の工場見学」という新しさが同時にこみ上げてきました。

東ドラの焼印は、焼印する面は平面ではないので押すのがとても難しかったです。

それでも、社長さん、職人の方々に教えていただきながら、全員楽しく焼印をさせていただきました。

福居製館所様、本当にありがとうございました。



オリジナルマスクの作成・販売

初めての試みということですが手探りの状態から始まりました。

マスクを作成してもらった業者選定、デザイン作成、全校への周知、申し込み方法、受け渡し方法、代金の回収方法など、話し合いが必要な事案がたくさんありましたが、コロナ禍で思うように委員会を開けない上にオリンピックと時期が重なり業者のマスク納入に通常よりも1か月ほど余計に時間を要するなど、時間の制限も受ける中での活動となりました。

そんな中、初めにタイムスケジュールを策定し、それに基づいて、委員全員が限られた時間の中で一致団結してなんとか10月の納入にたどり着くことができました。

そしてマスク販売の利益を生徒会に寄付することができました。

この活動にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



Let's Enjoy!

ズンバダンスで リフレッシュ♪



コロナ禍においてもできる限りのPTA活動をしたい！会員の皆様の楽しみになるものを提供したい！！との一心で『Let's Enjoy!ズンバダンスでリフレッシュ』と題して講師に熊谷美咲様（ピラティスボディメイクスタジオ アーヌエヌエ代表）をお迎えして2年振りに教養講座が開催されました。

10月7日に東高の体育館にて感染対策をしっかりと行った上で開催を計画していました。それと同時に、緊急事態宣言が延長になった場合には集まる事ができないので、他の場所にて録画し後日配信をおこなう。両方の準備を進めていったそうです。

「10月7日新旭川地区センターにて教養委員が集まり、録画をしながらズンバを体験しましたが、少々ハードだけでなくとても楽しいダンスエクササイズでした。これが体育館で開催できればどんなによかったかと思わずにいられませんでした。」と安倍委員長。

緊急事態宣言の延長の結果、10月14日（木）19時からZOOM配信となりました。映像の編集等初めての経験や、映像が途切れてしまうトラブルもありましたが、コロナ禍でもなんとか開催したいという教養委員の熱い思いが形になった講座でした。



教養講座「ZUMBA」に参加して

コロナ感染症の影響でPTAが参加できる行事も中止続きだったが、久しぶりに受け取った教養講座のお知らせ、しかも『ZUMBA』！

数年前ZUMBAに夢中になっていた私は、プリントを見た瞬間に参加を決めた。体育館で汗かき踊る日を楽しみにしていましたが、再びコロナ感染状況が悪化、ZOOMを使用してのリモート開催となってしまいました。慣れないZOOMをTVに大きく映しLet's Dance!と思ったら、映像が途切れてしまう…でも音楽は普通に聞こえてきたので、映像の動きを参考にして最後まで踊りきり、少々汗をかくことも出来ました。

今回は動画がうまくいかず残念でしたが、このような状況の中でもPTAが参加できる企画を準備してくれた役員の皆様ありがとうございました。

3年 保護者 Sさん



ノリノリの元気な曲が流れだした最初から、とても楽しい！と感じました。先生の動きを必死に真似てステップが追いつかない時もありましたが、心地良い汗をかき、スッキリしました。チャンスがあれば教室にも参加してみたいです。

3年 保護者 Tさん

初ズンバ！ZOOMだったので、多少時差があったのが残念でした。1時間で600kcalほど消費すると聞いて本気でやってみたくなりました。

3年 保護者 Fさん

定時制からの風

4月から12月までの授業や行事を紹介します

4/8木 ①コロナ禍での学校生活(入学式)

今年度10名の新生入生を迎えました。3、4年後の卒業を目指して頑張っていきましょう。



4/12月 ②対面式

生徒会執行部が1年間の学校生活の様子を、スライドを交えて紹介。代表者がクラスや部活動の紹介をしました。



5/21金 ③進路講話

層雲峡ホテルオーナー志水優平さんを講師に進路講話を行いました。

「やりたいことはなくてもいい。」と題して、志水さんのこれまでの経歴を踏まえた講演でした。



8/23月 ④交通安全講話

日本自動車連盟(JAF)旭川支部の方を講師としてお招きし、交通安全講話を行いました。実際の事故の映像や、自転車による危険な違反行為について説明していただき、交通安全に対する意識が高まりました。



9/29水 ⑤二十歳前飲酒禁止教室

この日は、旭川酒販協同組合の今井明信さんをお招きして、若年者の飲酒の弊害をお話していただきました。またお酒に「強い」「弱い」がわかるアルコールパッチテストも実施し自分の体質も知ることができました。



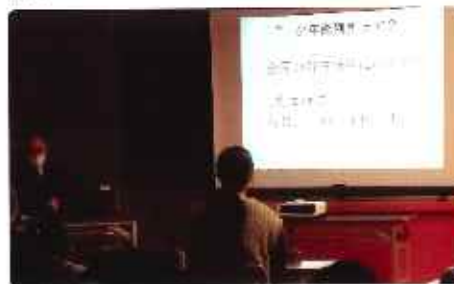
10/7木・8金 ⑥宿泊研修(ネイバル深川)

2学年はネイバル深川でMy箸(はし)を作りました。初めての作業でしたが、竹を小刀で削り、やすりをかけ、My箸を完成させていました。



11/30火 ⑦薬物乱用防止教室・防犯教室

旭川少年鑑別所の方を講師として、薬物の基本的な知識から、薬物乱用の恐ろしさを講話や映像を使って教えていただきました。生徒達は真剣なまなざしで講話を聞き、謝辞では薬物に手を染めないことを誓っていました。



12/17金 ⑧レクリエーション大会

運動種目：バレーボール、バスケットボール、文化種目：トランプ(ババ抜き、大宮蒙)、黒髭危機一髪、全体種目：五色綱引きを行いました。学級や学年の交流が深まり、一体感のある大会でした。



12月 ⑨しめ飾り制作

授業でしめ飾りを作りました。生徒たちの完成した色とりどりの作品は定時制の廊下に展示しました。「今年もあとわずか しめ縄で運氣up」冬休み前に生徒たちは自宅に持ち帰りました。



8/3火~8/6金 ⑩卓球部、定通体連全国大会出場(男子団体全国ベスト16)

令和3年8月3日(火)~6日(金)、奈良県奈良市ポートアリーナ奈良にて、令和3年度全国高等学校定時制通信制体育大会(全国大会)卓球競技が開催されました。

旭川東高は6月の全道大会において、男子団体優勝、男子個人ブロック優勝し、北海道の代表として全国大会に出場しました。

試合の結果は次のとおりです。

【男子団体】1回戦：旭川東3-1前橋清陵(群馬)、2回戦：旭川東3-0新庄北(山形)
3回戦：旭川東1-3西宮香風(兵庫)

【男子個人】2回戦：榎塚梁陽(旭川東)1-3占部(横浜総合：神奈川)



令和3年度 教職員紹介

★印は主任および部長

氏名 クラス ①教科 ②分掌 ③部活動・同好会

1学年 2学年 3学年 時間講師 定時制 事務局

校長 小林為五郎(国語)

全日制課程 教頭 今野 博友(地歴・公民)

1 学年

齋藤 宏臣
★1 学年
①地歴・公民 ②生徒指導
③野球

加藤 義則
1-1 担任
①★国語 ②生徒指導
③文芸、美術・工芸

宮野 俊二
1-1 副担任
①★数学 ②教務 ③卓球

蜂谷 健吾
1-2 担任
①数学 ②進路指導
③バレーボール

高子 和雄
1-2 副担任
①英語 ②総務 ③将棋囲碁、英語

田熊 俊治
1-3 担任
①地歴・公民 ②生徒指導 ③剣道

石尾 浩一
1-3 副担任
①保健体育 ②★生徒指導
③サッカー

大屋 泰宏
1-4 担任
①理科 ②進路指導 ③新聞、放送

柴田 朝幸
1-4 副担任
①国語/司書教諭 ②★教務
③バスケットボール、書道

中條 恵
1-5 担任
①英語 ②進路指導 ③山岳

中山 正幸
1-5 副担任
①★保健体育 ②生徒指導
③陸上

上口 徹也
1-6 担任
①★理科 ②教務 ③吹奏楽

山根有希子
1-6 副担任
①国語 ②保健相談 ③卓球、書道

太田 倫夫
1 学年付
①★情報 ②教務
③陸上、その他

宮腰 泰子
1 学年付
①指導実習助手 ②教務
③バドミントン

Melissa Jackson
1 学年付
①ALT

2 学年

渡部 真紀
★2 学年
①★家庭
②教務
③茶草道、軽音楽

黒田 悠未
2-1 担任
①英語 ②教務
③英語、囲碁将棋

佐藤 俊行
2-1 副担任
①数学 ②★総務 ③野球

吉田 誠
2-2 担任
①国語 ②進路指導
③サッカー

綾 如永
2-2 副担任
①地歴・公民 ②総務
③テニス、写真、その他

飯田 一三
2-3 担任
①★地歴・公民
②保健相談
③山岳

山下 元
2-3 副担任
①英語 ②総務
③ハンドボール

近藤 誠
2-4 担任
①数学 ②総務 ③野球、応援団

梁川 耕
2-4 副担任
①英語 ②進路指導
③漫画・アニメ、ダンス

深山 尚仙
2-5 担任
①理科 ②教務 ③テニス

本間 伸
2-5 副担任
①国語 ②進路指導
③バドミントン

野矢有希子
2-6 担任
①保健体育 ②生徒指導
③ソフトテニス

伊與田浩紀
2-6 副担任
①理科 ②生徒指導 ③ラグビー

菊田 茜
2 学年付
①数学 ②総務 ③音楽

宮澤紀久子
2 学年付
①養護教諭 ②保健相談
③漫画・アニメ、ダンス

3 学年

松井 恵一
主幹教諭 ★3 学年
①地歴・公民 ②進路指導
③バレーボール、クイズ研究会

森実三保子
3-1 担任
①国語 ②総務
③軽音楽、茶草道

小林 英樹
3-1 副担任
①理科 ②★保健相談
③天文、化学

森藤 祐
3-2 担任
①英語 ②生徒指導
③ソフトテニス

千葉 一彦
3-2 副担任
①★芸術(音楽) ②生徒指導
③吹奏楽

石本 潤
3-3 担任
①数学 ②教務
③バスケットボール

原 徳之
3-3 副担任
①★英語 ②教務 ③剣道

大内由貴恵
3-4 担任
①国語 ②保健相談 ③音楽

佐藤 淳司
3-4 副担任
①数学 ②教務 ③書道

城 将貴
3-5 担任
①理科 ②教務 ③ハンドボール

五十嵐友太郎
3-5 副担任
①地歴・公民 ②進路指導
③バレーボール

中川 清文
3-6 担任
①保健体育 ②教務 ③テニス

宮田 一茂
3-6 副担任
①理科 ②教務 ③化学、天文

堀江 昌昭
3-7 担任
①理科 ②進路指導 ③放送

鶴沼 尚
3-7 副担任
①国語 ②教務 ③文芸、美術・工芸

滝澤 俊秀
3 学年付
①英語 ②生徒指導 ③その他

花尻 健明
3 学年付
①数学 ②★進路指導
③バスケットボール、ソフトテニス

時間講師

加藤 満
①数学

齋藤 健昭
①芸術(美術)

村中 典彰
①地歴・公民

村上恵美子
①芸術(書道)

定時制課程

教頭 小林 茂広

西中 剛志
1 年担任
①保健体育
②生徒指導部
③バドミントン

國下 浩己
1 年副担任
①情報・音楽
②教務
③理科

水本 朔
2 年担任
①理科 ②教務
③卓球

加藤 勉
2 年副担任
①地歴・公民
②教務部長
③新聞

近藤 剛史
3 年担任
①数学 ②教務
③写真

村上恵美子
3 年副担任
①国語・書道
②生徒指導部長
③漫画・イラスト

山根 志津
4 年担任
①家庭
②生徒指導
③バドミントン

酒井 浩一
4 年副担任
①英語
②教務
③卓球

田口由理香
養護教諭(育休)

東海林賢代
養護教諭(育休代替)
②生徒指導
③手話

下川 夏実
給食調理員
②給食調理

菊地みどり
給食調理員
②給食調理

岡部 裕子
時間講師
①英語

山根有希子
時間講師
①国語

柴田 朝幸
時間講師
①国語

事務局

事務長/千田 弘行

事務主任/川村 希

専門主任主事/工藤 仁美

事務職員/井内 美希



1 学年 活動報告



1学年委員長
佐藤 章江

1学年委員会では、PTA活動はもちろん子ども達にも保護者の皆さんにも高校生生活を楽しんでほしいとの思いから、活動目標を「enjoy your life」としました。

1回目の話し合いで、保護者が行事に参加できないことや、学級懇談などの実施も難しいことを考え、保護者に学校生活の様子を伝えるためのDVDを作成することに決めました。DVDの写真は各クラスのHR委員長にお願いし、子ども達が撮った写真を集めることにしました。DVDジャケットも子ども達に作成を依頼し、描いてもらうことにしました。

予定していた学年委員会が延期になり、LINEでの会議や情報交換が中心になりましたが、やっと11月に2回目の委員会を実施することができました。集まるのが難しい1年でしたが、先生方や子ども達の協力もあり、DVD完成に向けて取り組むことができました。

先生方からも4月の宿泊研修では各クラスの様子を写真で、7月の学校祭ではクラス展示準備や初日のパフォーマンスなどの様子をYouTubeで配信していただきました。子ども達が行事を通して絆を深め活動する様子が見て取れました。先生方からの情報発信に心から感謝申し上げます。

最後に学年委員会の皆さん、教職員の皆様、PTA活動を支えていただき本当にありがとうございます。今後も情報交換や交流を図りながら、子ども達のサポーターとして活動を深めていきたいと考えています。



2 学年 活動報告



2学年委員長
齋藤 一恵

私たちは1年生から引き続き、「旭東LOVE」私たち笑顔はじける応援団」を活動テーマとして動き始めました。

昨年今年度はコロナ禍で学校行事が軒並み縮小されることとなり、保護者が来校する機会はほとんど無くなってしまいました。保護者の中には、子供たちの学校での様子はもちろん、日頃お世話になっている諸先生に一度もお会いしたことがないという現状があり、私たちは何とか今年度は、見学旅行後に子供たちの写真を観ながら先生と保護者との懇親会を開催しようと企画していました。しかしながらギリギリまで悩んだ末に懇親会は断念、そして講演会という形での活動に切り替えることとなりました。

講演してくださったのはスポルメの代表取締役渡邊祐二さんです。開催日は2月2日です。この原稿の提出後の開催ですが、コロナの感染状況が落ち着いていけば保護者も参加できる企画として、起業家の貴重な経験をお子供たちと共に拝聴できる機会になっていくことと思います。

来年度こそは、校長先生をはじめ諸先生と私たちPTAが一丸となり、全力の笑顔で子供たちの学校生活を応援・サポートしていきたいと思っていますので、来年度も宜しくお願いいたします。

3 学年 活動報告



3学年委員長
嵯城 俊明

COVID19の影響で新しい生活様式が提唱され、PTA活動においても試行錯誤を余儀なくされました。そんな中、我々PTA役員は学校へも行けず、全てにおいて3学年担当の松井先生、堀江先生に実施して頂きました。心より感謝と敬意を捧げます。その結果、現状に合わせたPTA活動が出来たと思います。

1. 受験生のための情報共有会

YouTube配信と録画配信を第3学年委員会メンバーに加えて花尻先生と北岸会長を迎えて質疑応答形式で開催（事前に募集した質問を基にしたり、受験生の親としての「あるある」などを共有）。過去2年間と今年度の受験アドバイザーからの手記は学年情報共有ページを活用して配信

2. 2学年、3学年の2年間の学校での様子のYouTube配信

学校祭当日の仮装パフォーマンス、クラス展示や中庭企画などを盛り込んだ

3. プレゼント

2年前以前にしていた11月の決起集会（懇親会）の代替案でクリアファイルに3年生全員の集合写真と「シマレガンバレ」を印刷したものをプレゼント



生活委員会 活動報告

生活委員長 齋藤 真人

今年度は昨年度に引き続きコロナ禍のため、例年行っている活動がすべて中止になりました。そのような状況の中、生活委員会としてできることはないかと考え、二つの新しい活動に取り組みました。

まず一つ目は、校章の焼印が押しあてられてきたとき、通称「東ドラ」を学校祭に合わせて全校生徒に食べてもらい盛り上げるという活動です。それに際して「東ドラ」製造元である福居製館所様にお願いをし生活委員8名が工場見学と「東ドラ」に校章の焼印を押す体験をさせていただきました。

二つ目はマスクに校章、校名をデザインした東高オリジナルマスクを作成・販売してその利益を生徒会に寄付するという活動です。先生、生徒、保護者、OB、同窓会の皆様にご購入いただきました。コロナ禍ではありましたが、生活委員会として生徒会にお金を寄付することができましたのも皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

今年度を振り返ってみますと、コロナ禍ではあっても子ども達のために何かできることはないか、という生活委員全員の強い思いが理念となって「東ドラ」、「東高マスク」といういずれも校章を司るこの活動に私たちを導いてくれたのかもしれない、とちよっぴり口マンチックに感じています。

そして何より生活委員会の活動にご理解・ご協力をいただきましたすべての皆様のおかげで1年間を無事終えることができました。本当にありがとうございました。



教養委員会 活動報告

教養委員長 安部 桃子

今年度の教養委員会では、「ズンバ」というダンスフィットネスの講座を開催しました。しかしコロナ禍の最中ということもあり、紆余曲折を経て初のオンライン講座となりました。

当初は、体育館で体を動かしてストレス発散しましょう！同時に配信にも挑戦してみよう！と企画したズンバ講座でしたが、先の緊急事態宣言が大きくなるとなりました。学校側から、宣言延長の場合は体育館の使用は許可できないと言われていたのですが、それが現実となったのです。しかもズンバ協会に確認したところ、YouTubeでの配信も禁止されているとの事。大きな壁にぶつかりました。

人を集められないなら、オンライン一本でやるしかない！そこから別の収録場所を確保し、配信方法をZoomに変更し、オンライン講座の案内プリントを改めて作成。配布できずにいた当初のプリントとカラーチラシもなんとか一緒に配布することができました。

初めての試みの連続で不安は常にありました。委員会のテスト配信を経て、ようやくオンライン講座の開催にこぎつけることができました。ここまでやれたのは、何よりも教養委員会の皆さんの協力のおかげです。話し合いもままならない中、力を合わせて乗り越えられた事に感謝の気持ちしかありません。

配信方法や講座の案内方法など課題も多く残りましたが、今後に向けて大きな軌跡を残せた一年になったと思います。ありがとうございました。





令和3年度を振り返って

PTA会長 北岸 睦

昨年度に引き続き、コロナ禍による制約のある生活を強いられた一年となつてしまいましたが、そのような中でも会員の皆様にはPTA活動にご理解、ご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。今年度も、PTA活動として計画しておりました、保護者と教員、また保護者間での懇親については、残念ながら直接顔をあわせて開催する機会がほとんどできませんでしたが、しかし、それに代わり、会議や講座をオンラインで開催したり、生徒会へのマスク販売による売上金寄付や東高祭に参加する子どもたちへの東ドラ（どら焼き）配布など、今までの事業では取り入れなかった工夫を凝らした活動が行われたことは、現状を踏まえたくえでの新たな挑戦ととらえることができましたのではないかと思います。子どもたちの学校生活についても同様で、部活動や学校祭などの各種学校行事、生活や行動が制限される中、先生方も含め一丸となって、できること、やれることを模索しながら前向きに取り組む、実施している姿を私たち親は頼もしく、そして少しかわいそうに感じた一年でした。しかしながら、子どもたちのこれからの将来においては、このコロナ禍のような今までの当たり前が通用しない場面に遭遇することも考えられます。その場合、この前向きに物事をとらえ、新たに取り組む力が培われたことが、今後必ずや生かされてくるであろうと、親としてポジティブに考えていきたいです。

集記 編後



広報委員長 近藤 英恵

今年度は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で先が見通せない状況で始まりました。そのような状況の中でも各部の委員の皆さんが感染対策をしながら、なにか出来ることはないかと創意工夫を凝らして活動している様子が伝われば嬉しいです。

次年度もどのような状況になるか分かりませんが、PTAとしての活動を伝えるのは広報の大切な役割だと改めて感じています。

昨年は副委員長をさせていただいていましたが、学校行事もPTA活動も全く行えずに、広報委員としての活動もほぼ出来ませんでした。そのため、今年の委員長としての役割を果たせるか不安だったのですが、役員の方々の協力でなんとか一紙発行することが出来ました。良い経験をさせていただいたと思います。ありがとうございました。

